



株式会社 躍進

飛び火認定番号

合板＋合板下地 DR-0703

合板＋防火版下地 DR-0704

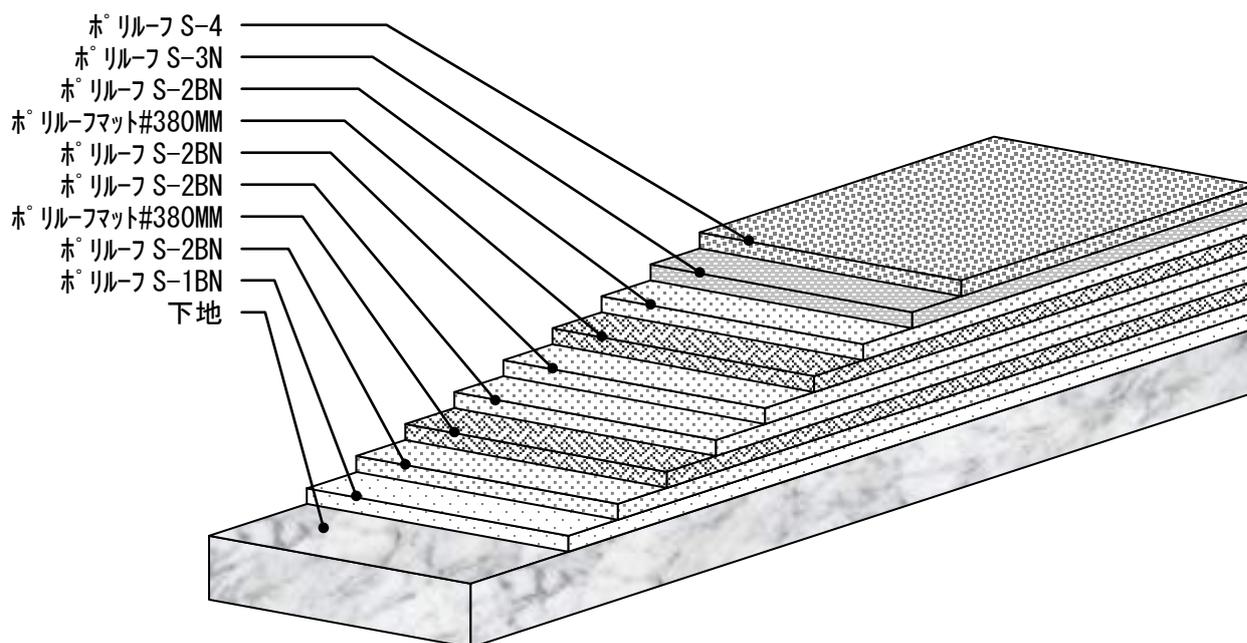
木造住宅バルコニー防水

ポリルーフ MPS-4 工法

1. 工 程

ポリルーフMPS-4工法

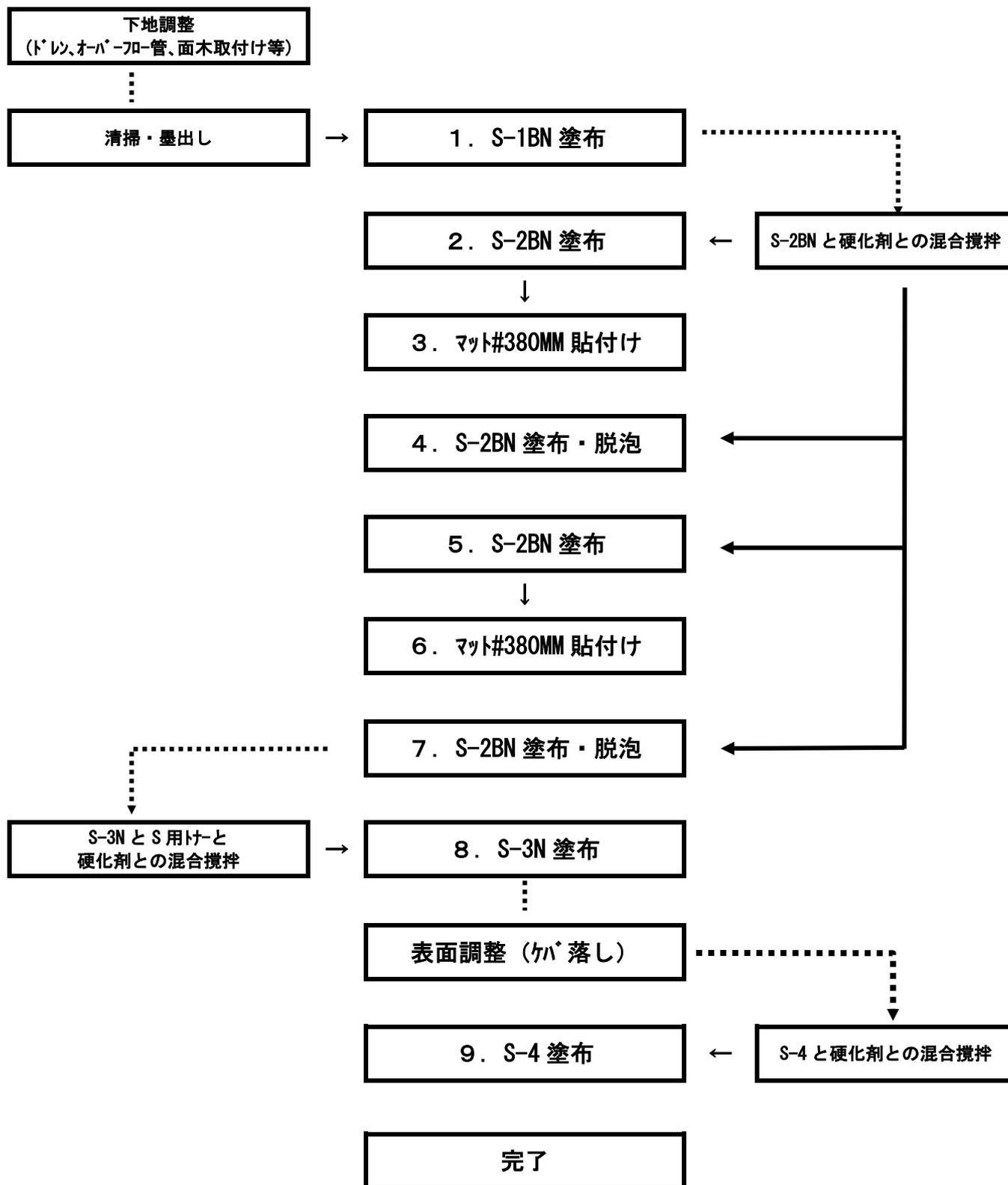
工 程		品 名	標準量 ／ m ²	摘 要
—	下地処理	ドレン取り付け オーバーフロー巻取り付け 面木取り付け等	—	
1	プライマー	ホリルーフ S-1BN	0.2 kg	
2	下塗り	ホリルーフ S-2BN	0.7 kg	
3	ガラス基材	ホリルーフ マット#380MM	0.38 kg	
4	下塗り	ホリルーフ S-2BN	0.7 kg	
5	下塗り	ホリルーフ S-2BN	0.7 kg	
6	ガラス基材	ホリルーフ マット#380MM	0.38 kg	
7	下塗り	ホリルーフ S-2BN	0.7 kg	
8	中塗り	ホリルーフ S-3N	0.4 kg	S用トナー混合
—	表面調整	—	—	カケ落とし (ハケ掛け等)
9	トップコート	ホリルーフ S-4	0.4 kg	



2. 製品構成

分類	品名	成分	用途	荷姿	液性
プライマー	ホリフ S-1BN	一液ウレタン樹脂	木造バルコニー用	16kg 缶	1
	ホリフ S-1DA	ビニルエステル樹脂	金属部用	1・4・18 kg缶	2
下塗り	ホリフ S-2BN	不飽和ポリエステル樹脂	FRP 積層用 (木造バルコニー用)	20kg 缶	2
中塗り	ホリフ S-3N	ビニルエステル樹脂	中塗り用	16kg 缶	2
	ホリフ S 用トナー	着色剤	中塗り樹脂用	0.7kg 缶	—
トップコート	ホリフ S-4 骨入り、骨なし	不飽和ポリエステル樹脂	トップコート層用	ケレ 20kg 缶 (標準色)	2
ガラス基材	ホリフ マット#380MM 両耳 (MM タイプ)	無機ガラス繊維	防水用ガラス基材	76m 巻	—
硬化剤	ホリフ 硬化剤	メチルメタクリレート	ハテ、S-2BN、S-3N、S-4 共通硬化剤	1kg・5kg ホリ缶	—
ハテ	ホリフ M ハテ	不飽和ポリエステル樹脂	一般用	4kg 缶	2
その他	ホリフ 専用ソナー	アセトン	ローラー等器具の洗浄用	16L 缶	—
	面木	木製面木 プラスチック面木	入隅面取り用	15△1800mm/本	—
	オーバーフロー管	塩ビ・FRP 製	オーバーフロー防止用	25mm φ	—
	縦引きドレン	FRP 製	縦引き用	—	—
	横引きドレン	FRP 製	横引き用	—	—
	縦引きドレン用目皿	ステンレス製	縦引き用	—	—
	横引きドレン用目皿	ステンレス製	横引き用	—	—

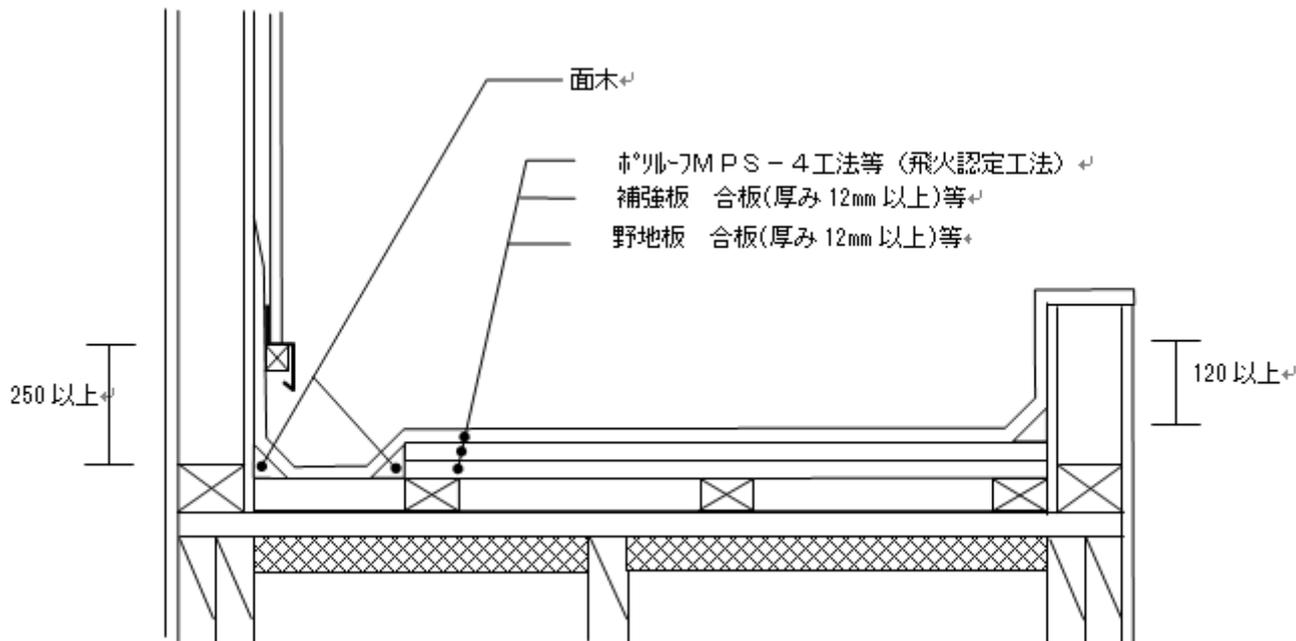
3. MPS-4工法 フローチャート (新築・サッシ後付け仕様)



→ (連続工程)

4. 下地条件

<断面図>



- ※ 根太間隔は 300mm 以内
- ※ 合板は千鳥貼り(継ぎ目をずらす)
- ※ 水切金物、サッシ枠は防水工事終了後取り付け
- ※ 野地板、補強板ともに厚み 12mm 以上
- ※ 勾配は 1/100 以上
- ※ 溝巾は 150mm 以上(勾配は 1/200 以上)

<飛び火認定を受けた下地材料例>

国土交通大臣 防火認定番号	下地構造	
	野地板 (下板)	補強板 (上板)
DR-0703	普通合板 (12mm以上) 構造用合板 (12mm以上) コンクリート型枠用合板 (12mm以上) 構造用パネル (12mm以上) O S B (12mm以上)	普通合板 (12mm以上) 構造用合板 (12mm以上) コンクリート型枠用合板 (12mm以上) 構造用パネル (12mm以上) O S B (12mm以上)
DR-0704	普通合板 (12mm以上) 構造用合板 (12mm以上) コンクリート型枠用合板 (12mm以上) 構造用パネル (12mm以上) O S B (12mm以上)	けい酸カルシウム板 (9mm以上) 硬質木片セメント板 (12mm以上) 繊維混入パーライトセメント板 (12mm以上) パーライト板 (12mm以上) 繊維強化セメント板 (9mm 以上)

5. 施工手順

下地処理

- ① ドレ、オーバーフロー管、面木を取付ける。
- ② その他下地処理を行った後ケリ、清掃する。



※FRP防水下地となる合板、防火板（ケイカル板等）は雨水等で濡れたり、湿っている状態でFRP防水を施工すると、フクレや剥離等の発生の原因となります。

このため下地合板や防火板（ケイカル板等）は、FRP防水の施工直前に貼るか、又は施工面をシート等を用いて覆い雨養生を行う等の予防対策を実行して下さい。

1. 第一層

プライマー塗布（ポリルーフS-1BN）

- ① S-1BN を標準 0.2kg/m²ローラー又は刷毛にて均一に塗布する。

※プライマー可使用時間：約2時間

可使用時間以内であっても樹脂の粘度が高くなったものは使用しないで下さい。

※吸い込みの激しい場合は再度塗布して下さい。

※プライマー塗布後3時間以上放置しないで下さい。

3時間以上あいた場合は、下地の表面が7~8割露出されるまで表面を目荒らしして下さい。清掃後、再塗布して下さい。

※オープンタイム 目安 30分~1時間



**2. 第二層
下塗り (ポリーフS-2BN)**

- ① プライマーの指触乾燥を確認してから次の工程に移る。
- ② S-2BN を標準量 0.7kg/m²として、ポリバケツに必要量入れる。
施工者数、面積に応じて調整する。
- ③ 硬化剤を混合攪拌する。
硬化剤の添加量は、<表-1>、<表-2>を参照
- ④ ローラーにて均一に塗布する。
- ⑤ サツを設置する面台へ巻き込む。

<表-1>

硬化剤 樹脂	0.8%	1.0%	1.5%	2.0%
1kg	8g	10g	15g	20g
5kg	40g	50g	75g	100g
10kg	80g	100g	150g	200g

<表-2>

夏タイプ 可使時間 (分)				
硬化剤 \ 温度	20℃	25℃	30℃	35℃
0.8%	85	65	48	38
1.0%	65	45	35	30
1.5%	45	32	23	18

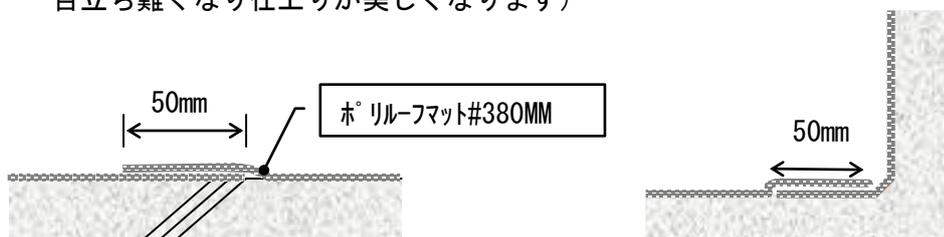
春秋タイプ 可使時間 (分)				
硬化剤 \ 温度	15℃	20℃	25℃	30℃
0.8%	95	65	45	30
1.0%	70	45	30	20
1.5%	50	30	20	15
2.0%	32	20	13	10

冬タイプ 可使時間 (分)				
硬化剤 \ 温度	5℃	10℃	15℃	20℃
1.0%	63	43	30	20
1.5%	42	30	23	15
2.0%	25	20	15	10

※上記可使時間はあくまで目安であり、保証するものではありません。

**3. 第三層
ガラス基材 (ポリーフマット#380MM)**

- ① 連続して次の工程に移る。
- ② 事前に割付けカットしたマット#380MM をしわのよらない様に敷き込む。
- ③ マットの重ね巾は 50mm 以上取る。
(重なりあう部分のマットの末端を手でちぎった状態にしておくと、マットのラップが目立ち難くなり仕上がりが美しくなります)



**4. 第四層
下塗り (ポリーフS-2BN)**

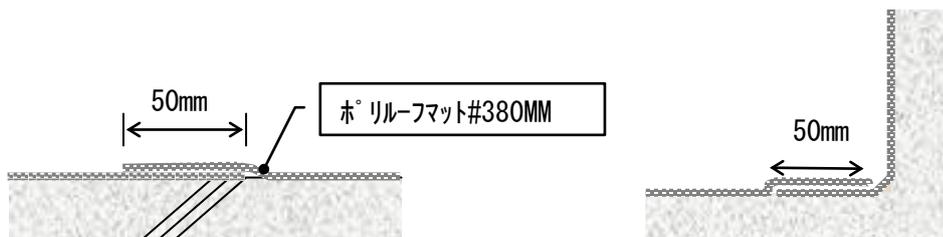
- ① 連続して、次の工程に移る。
- ② S-2BN を標準量 0.7kg/m^2 として、ポリバケツに必要量入れる。
施工者数、面積に応じて調整する。
- ③ 硬化剤を混合攪拌する。
硬化剤の添加量は、〈表-1〉、〈表-2〉を参照
- ④ ローターにて均一に塗布する。

**5. 第五層
下塗り (ポリーフS-2BN)**

- ① 連続して、次の工程に移る。
- ② S-2BN を標準量 0.7kg/m^2 として、ポリバケツに必要量入れる。
施工者数、面積に応じて調整する。
- ③ 硬化剤を混合攪拌する。
硬化剤の添加量は、〈表-1〉、〈表-2〉を参照
- ④ ローターにて均一に塗布する。

**6. 第六層
ガラス基材 (ポリーフマット#380MM)**

- ① 連続して次の工程に移る。
- ② 事前に割付けカットしたマット#380MM をしわのよらない様に敷き込む。
- ③ マットの重ね巾は 50mm 以上取る。
(重なりあう部分のマットの端末を手でちぎった状態にしておくと、マットのラップが目立ち難くなり仕上がりが美しくなります)



**7. 第七層
下塗り (ポリーフS-2BN)**

- ① 連続して、S-2BN を標準量 0.7kg/m²として、ホリパケツに必要量入れる。
施工者数、面積に応じて調整する。
- ② 硬化剤を混合攪拌する。
硬化剤の添加量は、<表-1>、<表-2>を参照
- ③ ローラーにて均一に塗布し、スクイローラーもしくはスチールローラーで発生した泡を脱泡する。
(上記要領にて 30分~1時間で硬化がはじまります)
※工程間隔が夏期で1日以上、春秋期で2日以上、冬期で3日以上あいた場合は
次の処理を行って下さい。
表面目荒らし→アセトン拭き→S-1X塗布。その後、次の工程に移って下さい。

**8. 第八層
中塗り (ポリーフS-3N)**

- ① S-3Nに事前にS用剤を重量比で3~5%程度 (S-3N 1缶に対してS用剤1缶) 添加し混合攪拌する。
- ② 事前にS用剤を混合したS-3Nに硬化剤を混合攪拌する。
硬化剤の添加量は、<表-1>、<表-3>を参照
- ③ 標準 0.4kg/m²ローラー又は刷毛にて均一に塗布する。

<表-3>

夏タイプ 可使時間 (分)				
硬化剤 \ 温度	20℃	25℃	30℃	35℃
0.8%	110	80	60	45
1.0%	70	50	40	30
1.5%	55	37	27	20

春秋タイプ 可使時間 (分)				
硬化剤 \ 温度	15℃	20℃	25℃	30℃
0.8%	95	75	55	40
1.0%	60	45	30	23
1.5%	45	32	20	15
2.0%	30	20	13	10

冬タイプ 可使時間 (分)				
硬化剤 \ 温度	5℃	10℃	15℃	20℃
1.0%	130	90	60	40
1.5%	80	55	36	25
2.0%	30	20	13	10

※上記可使時間はあくまで目安であり、保証するものではありません。



表面調整

- ① 中塗り硬化後、表面が^レ落しを行う。
- ② 清掃

**9. 第九層
トップコート（ポリルーフS-4）**

- ① 表面調整後、次の工程に移る。
- ② S-4 に、S-2BN、S-3N よりやや多めに硬化剤を混合攪拌する。
硬化剤の添加量は、<表-1>、<表-4>を参照
- ③ 標準 0.4kg/m²をローラー又は刷毛にて均一に塗布する。
- ④ 立上り部→排水溝→土間部と順に塗布する。

<表-4>

夏 ^{タイ} 可使時間（分）			
硬化剤 \ 温度	20℃	25℃	30℃
0.8%	35	30	27
1.0%	30	25	20
1.5%	20	17	13

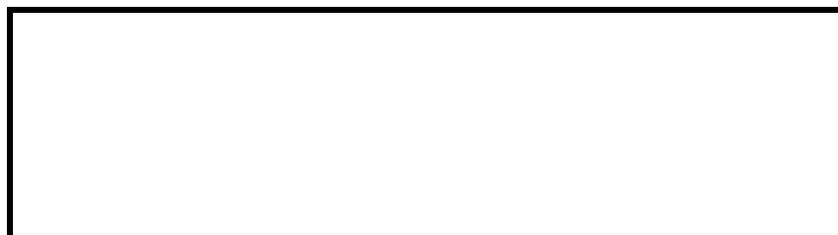
春秋 ^{タイ} 可使時間（分）			
硬化剤 \ 温度	15℃	20℃	25℃
1.0%	35	27	20
1.5%	30	22	15
2.0%	23	17	10

冬 ^{タイ} 可使時間（分）			
硬化剤 \ 温度	5℃	10℃	15℃
1.0%	60	45	27
1.5%	45	33	20
2.0%	35	25	12

※上記可使時間はあくまで目安であり、保証するものではありません。



（施工後 24 時間以上養生し完了）



価値ある「安心・空間・環境」を創造する

株式会社 躍進

□本 社 〒337-0043 埼玉県さいたま市見沼区中川 106-1
TEL 048-(688)-3388 FAX 048-(680)-7615 E-meil yakushin-no1nifty.com
□東京営業所 〒107-0062 東京都港区南青山 2-2-8D Fビル 2F
TEL 03-(6804)-2541 FAX 03-(6804)-2542

※本施工マニュアルは平成 29 年 3 月現在のものです。予告なく内容を変更する場合がありますので、
その際は関係係員までお問い合わせ下さい。